

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	再生可能エネルギー活用計画策定・推進事業			
■事業開始年度	平成24年度			
■評価事業コード	030200 - 054	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	エネルギー政策基本法、地球温暖化対策推進法			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市再生可能エネルギー活用推進計画			
■事業の目的と概要	地域に賦存する再生可能エネルギーを積極的に活用し、住民が地球環境や地域環境に負荷をかけない暮らし方を実践することにより、低炭素で災害に強いまちの実現を目指す。地域に賦存する再生可能エネルギーの積極的な活用と省エネルギーの推進を両軸にした地球温暖化防止の方策を定めた、再生可能エネルギー活用推進計画を策定し、施策の推進を図るもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	再生可能エネルギー活用計画策定事業	市民、企業、事業所	次期計画の在り方について検討	・環境審議会開催 1回・進捗状況確認
02	再生可能エネルギー活用計画推進事業	市民、企業、事業所	①CO2削減対策モデル事業交付申請、実績報告等4回②出前講座・視察見学・取材対応	①CO2削減対策モデル事業交付申請、現地調査、中間評価、実績報告②出前講座等講師1回、視察対応1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	303	256	79	151	
人件費	826	2,824	307	229	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,129	3,080	386	380	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	ソフト事業数	2事業	2事業	2事業	2事業	計画推進のための、ソフト事業数

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

再生可能エネルギー活用推進計画後期計画を平成28年3月に策定し、低炭素化社会の実現を目指している。H30は、公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業において、北上総合体育館の空調及び照明改修を実施した。

問題点・課題等

黒工地域連携プロジェクトにおいて、環境との関係性の維持が課題である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

黒工地域連携プロジェクトの環境との繋がりについて見直しを行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了